

# 二〇一九年度 入学試験問題

## 国語

### 第三回

【注 意】

- ・試験時間は五〇分です。（八時五〇分～九時四〇分）
- ・問題は一ページから七ページまでです。
- ・解答はすべて解答用紙の解答らんに記入してください。
- ・字数制限のない問題について、一行分の解答らんに二行以上解答してはいけません。
- ・解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。



洗足学園中学校

1 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

## 問一

——(1)「野生チンパンジーがする木の実割り行動の学習」とありますが、その説明としてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア チンパンジーは硬い木の実を石を使って割り、割れたからを集める。

イ チンパンジーは群れ全体で木の実割りをしており、小さな子どもも加わっている。

ウ チンパンジーの子どもは、親やきょうだいが割った木の実をもらうだけである。

エ チンパンジーは親やきょうだいに教わりながら、3、4年かけて木の実が割れるようになる。

## 問二

——(2)「チンパンジーはいわゆる木の実割りの『手順』を模倣しているように見えません。」とありますが、では、チンパンジーは、どのような学習によって、木の実割りができるようになりますか。解答らんに二行以内で答えなさい。

## 問三

——(3)「人間はイミテーションをしている」とありますが、これに関連する44行目以後の、二種類のランプ実験において、幼児はどのようなことをしましたか。解答らんに二行以内で答えなさい。

問四 — (4)「理由」とありますが、これとほぼ同じ意味のひらがな三字の語を文中から抜き出しなさい。

問五 — (5)「日本人はなぜ勤勉で礼儀正しいと外国人から言われるのでしょうか。」とありますが、筆者はその理由をどのように考えていますか。解答らんんに二行以内で答えなさい。

問六 A  D  に入れるのにふさわしい言葉を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使います。)

ア そして      イ では      ウ しかし      エ たとえば

問七 — (ア) (オ)のカタカナを漢字に書き直しなさい。

問八 本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア チンパンジーは、仲間たちの行動を一部分真似まねしているようだが、人間が意図を理解し手順まで忠実に真似るのとは違ちがっている。
- イ チンパンジーは、仲間たちとの活動を通じて石で木の実を割ることはできるようになるが、人間が教えても割ることはできない。
- ウ 人間は、意味も考えずに、一連の動作をそのまま真似をしがちなので、この点では、チンパンジーを見習わなければならない。
- エ 人間は、幼児期には観察したことをたくみに模倣する能力を持っているが、その後、学習するにつれて、その能力は落ちていく。

2 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

95

90

85

80

75

70

65

---

130

125

120

115

110

105

100

## 問五

——(5)「恭介が大島先生に呼びだされたのは、次の日の放課後だった。」とありますが、この場面で恭介の気持ちを最もいらだたせた理由としてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 言葉づかいが男らしくなくはつきりしないこと。

イ 放課後に職員室に呼び出されたこと。

ウ ずいぶん前のことをいまさら持ち出してきたこと。

エ もうじき卒業だからあやまっておきたいといったこと。

## 問六

——(6)「目」とありますが、「目」を使った次の一～五の成句の意味を、後の「意味」ア～オの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- 一 目が高い
- 二 目がない
- 三 目から鼻へぬける
- 四 目くじらを立てる
- 五 目に余る

【意味】

ア やることがひどすぎて見すごせない。

イ たいそう好きで夢中になる。

ウ よい悪いを見分ける力がすぐれている。

エ 頭の回転が速くて利口である。

オ ささいなことまであれこれと悪くいう。

## 問一

——(1)「あいつも見ていた。」とありますが、この「あいつ」とは誰のことか、なぜ「あいつ」というような呼び方をしたのですか。解答らんに二行以内で答えなさい。

## 問二

——(2)『やった。とん汁だ』とありますが、恭介がこのように思ったのはなぜですか。解答らんに二行以内で答えなさい。

## 問三

——(3)「お母さんが、恭介のちゃわんに、くたくたに煮えたすきやきのにんじんを入れた。」とありますが、このことは、できごとの実際に起こった順序では、どのできごとの後に続いていますか。それにあたる文の最後の五字を抜き出しなさい。(句点を含みます。)

## 問四

——(4)「青い表紙のサイン帖」とありますが、これは誰が、何のために用意したのですか。解答らんに二行以内で答えなさい。

## 問七

A ～ D に当てはまる語を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

ア びくんと      イ ぼんと

ウ がたがたと      エ ばらばらと

## 問八

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 恭介は卒業にさみしさを感じていなかったため女の子たちがサイン帖を回していたことを冷ややかな目で見ており、自分は絶対に書かないと考えていた。

イ 担任の大島先生は男らしくなく、授業中も生徒にはつきりとものをいうことができなかつたので、恭介は担任のことを全く信用していなかつた。

ウ 恭介は中学に進学していやな思いをするくらいならば、いつそのこと誰一人住んでいないジャングルに住んだ方がまだましだと思っていた。

エ 小学校を卒業したら野村さんとはなれて暮らし、もう会うことができなくなってしまうことに対して恭介はせつない気持ちになっている。







